

2018 年度国際臨地教育支援プログラム
国際研究発信力強化プログラム

募集要項

臨地教育・国際連携支援室

概要

- ◆京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属次世代型アジア・アフリカ教育研究センターの臨地教育・国際連携支援室（以下、支援室）では、ASAFAS 院生を対象とした「リサーチ C&M（コラボレーション&マネジメントサポート）コース」に参加する研究グループを公募します。

リサーチ C&M コースとは？

- ◆本コースでは、大学院生が主体となって開催する国際的な研究集会を支援します。
近年、研究成果を国際研究集会の場で発信する能力や、共同研究を組織し運営する能力が非常に重視されるようになってきました。本コースを積極的に活用することで、多くの院生が国際的な舞台における成果発信の経験を積むことを期待します。
本コースでは、地域や研究分野を横断・架橋するトピックを掲げた国際共同研究および研究集会の開催を推奨しており、その為、**研究集会に応募する際には、必ず二つ以上の専攻をまたぐメンバーによるグループを組織してください。**なお、このコースに参加することで「院生発案国際共同研究」（科目コード：5134）の単位が取得できます。

（1）支援内容

- ◆応募グループが中心となって開催する国際研究集会の開催経費を支援します。「国際研究集会」とは下記の各条件を満たすものを指します。
 - 使用言語が**日本語以外**の言語であること。
 - 研究集会は、**A) 単独での開催、B) 他の大学・研究機関・学会などとの共催、C) 海外で開催される学会等の企画セッション、のいずれかの形態をとること。**ただし、本コースの支援を受けない者が研究集会の報告者等として参加することは可能です。
 - 開催場所は、**A) 国内の場合は京都大学、B) 海外の場合は各種大学・研究機関・学会**とします。特別な事情がある場合には、事前に支援室へ相談してください。
 - 2019 年 2 月 28 日までに開催されることとしますが、2019 年 3 月に開催希望の場合も、支援室に事前に相談してください。
- ◆京都大学で開催する場合は、国外あるいは国内からの応募グループのメンバーの招聘費用を支援します。
- ◆海外の大学・研究機関・学会で開催する場合は、応募グループのメンバーの渡航費用（航空運

賃、滞在費など)を支援します。

◆発表原稿やプロシーティング原稿に掛かる英文校正費用を支援します。

(2) 応募に関する情報

◆応募資格：

研究集会に掛かる応募グループは下記の要領で構成してください。

- 人数は、5名程度を想定しています。
- 申請代表者は、在学中かつ博士予備論文を提出済み(あるいは3年次編入)の ASAFAS 大学院生とし、ASAFAS 他専攻の学生を必ずメンバーに加えてグループを構成してください。
- ASAFAS 学生のほか、ASAFAS の卒業生や学振 DC 研究者もグループメンバーとなることができます。ただし、各種助成団体から助成を受けている場合は、他の研究助成への応募制限がある場合もありますので、予め確認してください。
- 休学中の ASAFAS 院生および支援を受ける期間に休学予定の院生は、申請代表者とグループメンバーになることはできません。
- グループメンバーとは別に、研究集会の実施にあたってアドバイスを受ける ASAFAS 教員(教授、准教授、助教、特定助教)の名前を申請書に記入してください。

◆募集グループ：

数グループ。

◆支援経費：

1グループあたり50~100万円を目安としますが、審査の過程で支援額を調整する場合があります。この総額には、航空券代、研究集会開催費用、研究集会開催に必要な経費、報告に掛かる英文校正費が含まれます。申請の際には、必要額を費目ごとに分けて記載してください。

◆応募方法：

所定の申請用紙を支援室のホームページからダウンロードし、申請書に必要事項を記入のうえ、添付書類として `shien-app @ asafas.kyoto-u.ac.jp` とアドバイスを受ける教員も CC に加えて送付してください。

支援室 HP: <http://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/jisedai/shien/>

◆応募期間：

2018年7月1日~2018年9月30日(ただし、研究集会開催日まで2ヶ月以上の余裕を持って応募してください)。

◆選考基準：

随時、応募があるごとに審査をおこない採否を決定します。申請書類に基づいて、研究集会を的確に組織・開催できるか、問題意識をもって研究集会を遂行できるか等の基準で選考しますが、必要に応じて面接を実施する場合があります。

◆採択通知：

結果は随時、メールで通知します。

(3) 研究集会実施後の作業に関する注意事項

- ◆申請代表者は、研究集会終了後、二週間以内に研究成果報告書を提出してください。

成果報告書には、申請代表者の執筆による研究集会の基本情報（研究会名、メンバー）とその概要報告（日本語 2,000 字程度）とともに、参加メンバーの各自の報告内容等を含むものとします。参加メンバー1人あたりの成果報告書の文量は、日本語の場合 8,000 字程度、英語の場合 2,000words とします。

この成果報告書は支援室のホームページでも公開します。

- ◆本プログラムの支援で開催した研究集会の成果を公表する場合には、「京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属次世代型アジア・アフリカ教育研究センター」による「国際研究発信力強化プログラム」から支援を受けたことを明記してください。また、公表されたものは、成果物として支援室に提出してください。

(4) C&M コースの支援経費申請のための積算ガイドライン

- ◆航空券代

- 最終的な支援額は、航空券代の実費総額とします。
- 最も合理的な経路を選んでください。日本の出入国港は、原則として関西国際空港または伊丹空港としてください。
- 申請時には旅行日程を確定し、旅行代理店に日程表と見積書を発行してもらるか、インターネット上での航空券価格の検索値を添付してください。
- 他のプログラムによる支援を受ける旅程部分は支給されませんので、明記して積算に加えないこと。

- ◆研究集会開催経費

- 招聘者の日当（用務のある日当たり）・宿泊費（1泊当たり）は、招聘者の役職・地位と照らし合わせて下記の表（京都大学旅費規程）に基づいて計上してください。
- 支援の対象となる経費は、招聘者の日当・宿泊費、および関西国際空港（または伊丹空港）から京都市内の往復交通費です。
- 関西国際空港から京都市内の往復交通費は、空港リムジンバス利用の場合は 5,100 円、電車利用の場合は 5,700 円、MK シャトル利用の場合は 8,200 円（深夜早朝の場合は 8,800 円）とする。

	日当	宿泊費
役員・部局長クラス	5,000 円	17,000 円
教授・准教授・部課長クラス	5,000 円	15,000 円
教職員	4,200 円	12,900 円
その他（院生含む）	3,500 円	10,000 円

- ◆発表原稿やプロシーディング原稿等の英文校正費用

- 最終的な支援額は、英文校正費用の実費総額とします。
- 1 ページ（A4）あたりの文量を 400 words と想定し、1 word あたりの校正費用は 6 円として計算してください。